

# 保健医療計画(進行管理対象事業)の進捗状況について

## 1 健康づくりの推進

---

### ○ 健康的な生活習慣の確立

#### (1) 栄養・食生活の改善

食生活の改善に向け栄養成分、食事バランスなど、毎年テーマを変えながら栄養教室を実施している。25 年度から 3 年間の参加実績は横ばいであった。(実績報告 P. 65 事業番号 1-1-1)

#### (2) 歯と口腔の健康

区民の 30 歳、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の方を対象に、歯周疾患検診を実施している。25 年度と 26 年度は実績が横ばいであったが、27 年度は受診券を個別に送付し、チラシや区報、ホームページ等で周知を図った結果わずかに上昇した。28 年度からは受診間隔を 5 歳刻みに短縮したため、受診率向上とかかりつけ歯科医を持つ区民の増加が期待できる。(実績報告 P. 65 事業番号 1-1-5)

### ○ 生活習慣病対策

#### (1) 生活習慣病の予防

生活習慣病の特性についての区民の理解を深め、生活習慣の改善の重要性について知ってもらうため、健康教室を開催している。25 年度から 27 年度までウォーキング教室の参加人数は目標値を越えている。特に 27 年度は対象枠の拡大と関心の高まりから参加者数が大幅に増加した。また 26 年度から、壮年期を対象とする健康スキルアップ教室を開催している。(実績報告 P. 66 事業番号 1-2-1)

#### (2) 生活習慣病の早期発見

25 年度から 3 年間で目標値の 60%には到達しなかったが、27 年度は特定健康診査の受診について受診勧奨はがきを二度送付する等、受診勧奨に力をいれた。また、特定保健指導は、27 年度途中より委託した新規事業者と勧奨方法等の検討を行い、実施率向上を図った。(実績報告 P. 66 事業番号 1-2-2)

### ○ がん対策

#### (1) がん検診受診率の向上

がん検診について啓発や受診勧奨するだけでなく、受診しやすい環境を整備し受診率向上を図っている。子宮がん検診、乳がん検診とも無料クーポン券事業等により受診者数は大きく伸びた。他の検診でも一定の伸びがみられ計画数値に近づきつつある。(実績報告 P. 67 事業番号 1-3-1)

## ○ 母子の健康づくり

### (1) 妊娠・出産への支援

経済的負担を軽減し安全な出産に導くため、また歯周疾患のリスクが高まる妊娠中に口腔衛生の向上を図るため、妊婦健康診査と妊婦歯周疾患検診を行っている。25年度から3年間で、妊婦健康診査の受診者数と妊婦歯周疾患検診はともに増加している。また27年度より、母子健康手帳交付に伴う保健師による妊婦全数面接（ネウボラ面接）を開始した。その結果、面接の実施数が大幅に増加し、妊娠期からの継続した支援体制が充実した。（実績報告 P.67 事業番号 1-4-1）

### (2) 新生児期からの育児支援

新生児期の乳児がいる家庭を訪問し、母子の健康管理や子育て等に関する情報提供を行っている。25年度と26年度は目標値を超えている。27年度は訪問実績については前年度より約100件上回っているが、対象者数の増加が著しいことと、困難ケースも増加していることから目標値を若干下回った。また文京区版ネウボラ事業が始まり、より継続的・重層的な支援体制となった。（実績報告 P.68 事業番号 1-4-2）

### (3) 子どもの健康の確保

4か月から3歳までの乳幼児を対象として、年齢別に発育・発達状態の健康診査を行い、育児に必要な保健指導を実施している。25年度から3年間は、各健康診査の受診率とも目標値を上回っている。また未来所者については、家庭訪問等により受診勧奨し、更に他医療機関での受診など状況の把握に努めている。（実績報告 P.68 事業番号 1-4-3）

## ○ 高齢者の健康づくり

### (1) 介護予防事業の充実

すべての高齢者が元気な体を維持し、要支援や要介護状態になることを予防するため、介護予防事業を行っている。文の京介護予防体操では会場の増設や二部制の実施をすすめるなど、介護予防に参加する機会を確保するよう努めている。また、事業に参加した方からは、身体機能の改善や自宅で継続したいなどの感想があり、運動継続及び介護予防に対する意識を高めることにつながっている。（実績報告 P.69 事業番号 1-5-3）

## ○ 食育の推進

### (1) 食を通じたコミュニケーション

区民が望ましい食習慣を実践できるよう、食育を推進するため食のリーダーとなる食育サポーターを育成している。サポーターは、自主活動グループ主催の講習会講師を務めたり、ハッピーベジタブル大作戦における各種事業に参加したりするなど、活動範囲が広がっている。27年度は目標値を超えたが、今後もサポーター数を増やし内容を充実させていく。（実績報告 P.69 事業番号 1-6-2）

## 2 地域医療の推進と療養支援

---

### ○ 地域医療の推進

#### (1) 地域医療連携の充実

地区三師会、区内大学病院、その他関係医療機関からなる協議会、検討部会を開催し、地域医療連携について検討した。部会の中で、在宅医療検討部会は地域包括ケア推進委員会の専門部会の委員と同一とし、医療と介護の連携を進めている。27年度は在宅療養後方支援病院として、新たに公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院と協定を結び、合計4病院とした。(実績報告 P.70 事業番号 2-1-1)

### ○ 災害時医療の確保

#### (1) 災害時医療の確保

年次計画に基づき災害用医療資器材を更新し、今後新たに備蓄する品目について購入した。26年度には発災から3日間で必要となる医薬品を購入し、区内小中学校等の医療救護所に配備した。更に年4回の避難所総合訓練では、災害時の医療救護活動マニュアルに基づいた医療救護訓練を実施した。加えて27年度には、三師会から希望者を募りトリアージ研修を行った。今後も医療資器材及び医薬品については適切な管理、更新を行っていく。(実績報告 P.70 事業番号 2-2-1)

#### (2) 要医療援護者の災害時の支援

在宅人工呼吸器使用者の不測の事態における安全確保のため、患者ごとに「災害時個別支援計画」を策定し、災害時の支援体制を整えている。新規で計画を策定するとともに、策定済みの計画についても定期的な見直しを行い、実行性のある計画を目指しモニタリングを行っている。また27年度は介護保険課、障害者福祉課と連携し新規ケースの把握に努めた。(実績報告 P.70 事業番号 2-2-2)

### ○ 精神保健医療対策

#### (1) 精神障害者の地域生活支援体制の充実

精神障害者の病状悪化、治療中断及び怠薬を予防するため、地域活動支援センターの支援員が自宅訪問や通院同行をしている。25年度から3か所の地域活動支援センターで実施したことに加え、27年度には相談窓口として文京区障害者基幹支援センターが開設したこともあり利用者が増加した。容態が安定するなどにより、支援終了になったケースもあり、事業の効果が表れている。今後も医療機関や地区担当保健師からの情報を元に対象者を把握し、事業を継続させていく。(実績報告 P.71 事業番号 2-3-2)

### 3 健康安全の確保

---

#### ○ 健康危機管理体制の強化

##### (1) 新型インフルエンザ対策の体制整備

新型インフルエンザ等感染症発生時のまん延防止対策及び、医療体制整備等を行っている。25年度から「文京区新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議」を新たに設置し、関係団体・関係機関と地域医療体制について検討を進めている。26年度には新型インフルエンザや同様に危険性のある新感染症が発生した場合の対応について「文京区新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。また国と都が主催する新型インフルエンザ等対策訓練に参加し、実践的な訓練を行った。27年度に検討会議の新たな委員を委嘱し、診療体制の確認、患者移送訓練の報告及び住民接種における国の研究等について情報共有を行った。(実績報告 P.71 事業番号 3-1-2)

#### ○ 感染症対策

##### (1) 予防接種率の向上

定期予防接種について接種率の向上を図るため適切な情報提供や積極的勧奨を行っている。25年度からの3年間において、MR（麻しん・風しん）ワクチンの予防接種について、MR1期（満12か月から満24か月）の接種率は目標を上回ったが、MR2期（5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間で接種）は目標値を下回った。接種率向上のため、予診票の個別発送、保育園・幼稚園を通したチラシの配布等を行い、引き続き接種勧奨に努める。子宮頸がん予防ワクチンについては、25年6月に積極的接種勧奨が差し控えられて以降、接種者数は大きく減少している。勧奨の再開については未定。(実績報告 P.72 事業番号 3-2-4)